

## 四季とっておきの『京都』 - オンラインで古都を感じる旅へ -

学習テーマ：春招く節分の京都

- 2月の行事 / 節分 / 初午大祭 / 五大力尊仁王会 / 梅花祭 など -

講師：谷口 真由美(前半) / 若村 亮(後半)



若村講師が紹介された錦天満宮のお守りを、講座の翌々日にゲットに行ってきました。境内には、白い梅の花も可愛らしく咲いていましたよ。  
一緒にお話頂いていた西光寺にも立ち寄ろうとウロウロしましたが中々みつからず、見つけた頃にはすでに門が閉まっていた、お参りが叶わなかったのが残念でした。



2月と言えばメインは節分。節分の習わしから始まり、吉田神社の節分祭を中心に詳細な内容までお話頂けたので、興味深く聞き入ってしまいました。

知っているようで知らない事がいっぱい。行事の内容は生活に密着している部分も多く、京都烏丸駅に位置し、さまざまなかたちで多彩な京都の魅力を発信している京町家『らくたび』ならではのお話!!

情景が目につかび引き込まれる楽しい内容でした。各社寺で儀式に特徴があるのが良く分かった講義です。一口に節分と言っても各社寺でそれぞれに違う内容なので、何年かかけてどの社寺にも行ってみたいと思いました。

## ◆ 節分

節分とは“季節を分ける”つまり季節の変わり目となる、立春・立夏・立秋・立冬の前日をいう。しかし、古くから立春（2/4）を新しい一年の始まりとしたため、次第に節分といえば“春の節分”を指すようになった。平安時代、節分は悪鬼が現れやすい季節と考えられ、宮中では豆を撒いて悪鬼を追い払う「追儺（ついな）」という行事が行なわれ、のちに民間に伝わって現在のような節分行事となった。

## ◆ 市内各社寺にて行われている節分行事

2～4 日吉田神社：節分祭

2 日 18 時～追儺式 / 3 日 23 時～火炉祭

平安京の鬼門を封じるために建立された吉田神社では、2 日夕刻の午後 6 時から「追儺式（ついなしき）」（別名：鬼やらい）が行なわれ、鉄棒を振り回して暴れる赤・青・黄の 3 匹の鬼の前に、4 つ目の黄金仮面を付けた方相氏（ほうそうし）が立ちほだかって見事に鬼を追い払い、桃の弓で葦の矢を放って災厄を祓う。鬼は人間の三毒（欲・憎悪・愚かさ）をあらわし、その三毒（赤・青・黄の鬼）を退治して清い心で新年（立春）を迎える意味がある。翌 3 日の午後 11 時からは「火炉祭（かろさい）」が行なわれ、参拝客の持ち寄った古い神札が 浄火によって燃やされ、人びとに無病息災をもたらす。

2～3 日須賀神社：懸想文の授与

2～3 日聖護院：節分会

平安神宮：節分祭

2～3 日八坂神社：節分祭

3 日蘆山寺：追儺式/鬼法楽

## ◆ 節分の行事とともに話して頂いた内容は

**世継地藏尊大祭**（8 日世継地藏尊大寺）

立春の後、ご利益の最も多い毎年 2 月の功德日に催される法要。

**初午大祭**（10 日伏見稻荷大社）

初午大祭（はつうまたいさい） 和銅 4（711）年 2 月の初午の日に稲荷神が天から降臨したことにちなむ行事で、「福参り」「福稲詣で」とも呼ばれる。

**五大力尊仁王会**（23 日醍醐寺）

五大力尊仁王会（ごだいきそんにんのうえ） 上醍醐の五大堂には、不動明王を始めとする五大明王が安置され、五大力さんと親しみを込めて呼ばれている。

**梅花祭**（25 日北野天満宮）

梅花祭（ばいかさい） 2 月 25 日は御祭神・菅原道真公の命日にあたり、梅の花をこよなく愛でた道真を偲び、祭典が行われる。

春へ向かう梅花祭が待ち遠しいですね。